

◆通所介護ナイス・デイ◆訪問介護ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら

**SOS** vol. 189通信  
H28年5月10日発行  
発行元：株式会社サポート・ワン・サービス  
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036  
代表TEL：(0567) 26-3921  
FAX：(0567) 26-3922  
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

《利用状況 案内板 (★募集中★満員)》

★ナイス・ケア **利用者さん大募集♪**  
★ナイス・デイ (定員 10名)  

日	月	火	水	木	金	土
8	7	7	8	6	8	8

  
★ナイス・ホーム(定員 25名、登録者 16名)  
★愛宕の家(定員 17名中入居者 15名)  
★つしま紹介所  
★ナイス・キッズ  
(平日、下校後の利用のみ募集中)

～参考にご利用下さい～

《教室案内》

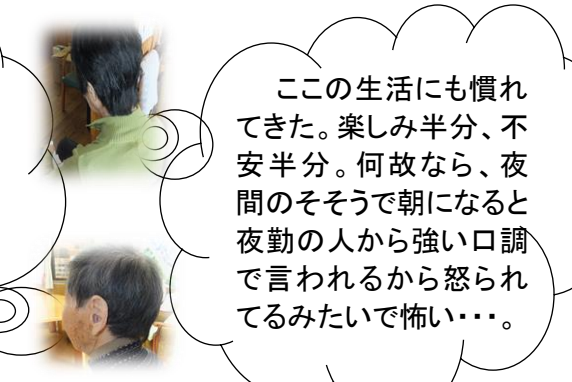
・和太鼓 月曜日(年間 35回)  
場所：愛西市川瀬コミュニティ  
・コーラス 水曜日(月 2回)  
場所：喫茶てのひら  
・バスケット金曜日(月 2～4回)  
場所：藤浪中学校体育館  
※職員やキッズ達の趣味活動を兼ねて各教室を発足。地域の方々にも参加していただけます。  
各教室月謝制で、定員あり。  
詳細はお問い合わせ下さい。

《5月行事予定》

上旬 藤見  
10日 外食DAY  
17日 ナイス・ホーム運営推進会議  
20日 避難訓練  
25日 いきいきサロン  
28日 誕生日会  
《不定期行事》  
天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します。

今日は本音を言おうじゃないか！

いつも洗濯干しやタオルたみを手伝っている。かわいい柄のものはついソソッと持ち帰ってしまう。そんな時、スタッフと目が合うと、「持ってった。持ってった」と言って私をドロボー扱いするで怒れてくる！！



この生活にも慣れてきた。楽しみ半分、不安半分。何故なら、夜間のそそで朝になると夜勤の人から強い口調で言われるから怒られてみたいで怖い…。

6月19日／打太鼓

SOSで和太鼓教室を始動してから早7年目を迎える。東海太鼓センターが主催する年に1度の和太鼓交流発表会には今年で3回目の出演を決めた。今年の演目は“エンカウンター”  
和太鼓の演目には魅力的な曲が沢山ある。しかし、SOSの多世代交流ならぬ、社内外から集まった多世代チームなので、このチームの雰囲気にあった演目を探し、尚且つ、少し編曲して練習することが多い。  
「この曲が打ると格好良いよね(笑)」この曲やるなら衣装はなんだろう(笑)という、子供達のやる気を引き出すためでもあるし、大人(高年齢者含む)にも、『大人だけだと難しいけど子供と一緒に楽しみながら打てる♪』『肌を露出するなんて考えられない…(といいながら密かにウキウキして衣装を検討しちゃう)』などの心の中にウキウキワクワクが出てくる。年に1度のイベント♪♪入場無料、多くの方に観に来てほしい♪♪(R・W)



←会場：瑞穂文化小劇場

小規模だからこそ／ナイス・ホーム

入退院時、「今後、在宅生活は難しいかも…」と諦めていた方でも、小規模の制度を活用すれば自宅で暮らす可能性に挑戦することはできる。  
「通い」と「訪問」と「泊まり」  
ひとつの事業所なのに、この三つを組み合わせながら利用できる。しかもケアマネも事業所に所属なので、判断や変更連絡もスムーズ♪登録者さんの中には緊急時は色々利用したいけど通常は「通い」だけの利用、「訪問」だけの利用という方もありますが、この三つを上手く組み合わせて利用している方も少なくはありません。  
「通い」は日中の様子・「訪問」は自宅での様子・「泊まり」は夜間の様子が見えてくる。私はケアマネと介護職を兼ねているため情報を聞くだけでなく、極力全てに関わる勤務予定で業務に就きます。この制度と体制って凄く恵まれています。  
何に困っているのか、今どこをサポートすると在宅生活を継続することが可能なか…。様子に変化が見られたとき、共にいる介護・看護職員から直ぐに相談や指摘を受けることもできます。  
時に、ケアマネとして計画した当初の基本予定が分からなくなるくらいの臨機応変対応、その後、登録者さんの様子が落ち着いてくると、『サービス利用のリズムを元に戻したほうがいいんじゃない??』『いや、まだ戻すのは早い。』等、家族の目線で意見交換しています。まだまだ未熟ですが、私は小規模多機能制度が大好きです。(Y・O)

実現する力／ナイス・キッズ

先日の中庭での出来事。キッズ達がせっせと庭の土を掘り起こし、大きな穴を掘っている。見ていたら、キッズから『ばーば(社長)が許可してくれたもん。暗くなった時に穴に落ちないようにしといてねって言われとるよ』と話し始めた。「ところで…何作ってんの?」  
「災害用トイレ(笑)」  
そういうことなら納得!!  
5年前の3月11日、ここ愛知県津島市で暮らしていても地震の揺れを感じ、更に福島津波の映像を見て、キッズ達の中でもしばらくの間恐怖心を拭い去れない状態の子もいた。  
先月から続く熊本の地震でもニュースを見てその記憶が蘇ったとも話していた。子供達の行動は素直だと思うし、そこから出る発想や行動力には頭が下がる。『熊本県産の物を買うことも支援になるんだよ』と当たり前のように話す。『もし地震が来たら、トイレがなきゃ困るでしょ?絶対にみんなが使えるトイレにするよ。』と、予備のポータブルトイレを持ち出し設置。ここにトイレありと目立つようにと工事用の三角コーンまで使った。  
日常生活の中で情報をキャッチし、感じることを考えることが沢山ある。この日は“備えよ常に”をキッズ達から学んだ瞬間だった。(R・W)



訪問マッサージ効果／愛宕の家

入居者さんの中には、個々のプランで訪問マッサージを利用している方が数名みえます。  
93歳のKさんは、普段は歩行器や手すり掴まりながら歩いている。しかし、訪問マッサージの時間は、先生が触れるか触れないかのところで支えてはいるものの、自分の足で歩いている。歩行器なしでも歩ける日を目指して日々できることを継続している。  
93歳のIさんは高齢で認知症。転倒の危険性が高くて、骨が脆くなっている、ご家族も了解の上で安心安全という名目で歩く機会を奪うことはしない。だからこそ、骨折後でも個別で訪問マッサージ等の関わりが重要になってくる。  
いろいろと難しい面もある。しかし、生活の場へ訪問し、生活動作で困っている場面を実際に感じて関わる訪問マッサージはとても役立つ効果が沢山得られる。パリッと清潔感のある若い先生が颯爽と現れること自体が日常生活にハリを持たせ、身も心も「さあ、やろう!!」と思わせてくれるのだろう。  
当然、週に1回～2回程度の訪問マッサージだけで歩けるようにはならない。日々関わっているスタッフの残存能力を活かす介護力や意欲の引き出し方、拘束・抑制しない生活、健康な身体をつくる食事などにプラスされるからこそその相互効果です(笑)(K・T)



通所介護利用中だけれど…これでいいの???／ナイス・デイ

昨年9月に続き、今年も3月に小規模多機能から通所介護へ移行された利用者さんがみえる。移行の主な理由は、緊急対応の可能性が低くなった、泊まり利用の可能性が低くなったためデイサービス単独へ変更となった。反対に『訪問』『通い』『泊まり』がセットになった制度の方がよいと判断され、通所介護から小規模多機能へ移行された方もみえる。  
高齢者にとって、環境の変化はストレスにもなり得る。しかし、今、この時の心身状態や介護環境、これから想定できるであろう状態を見越し、当事業所に限らず介護保険の中の色んな制度を上手く利用してもらいたいと考えている。利用者さんの目標としている事を達成するには単体のデイサービスがいいのか?訪問・泊まり・通いもある小規模がいいのか?ナイスデイのようなこじんまりとしたデイサービスでなく大勢の利用者さんがいるデイサービスの方がいいのか…どの制度を活用したら利用者さんがその人らしくいられるのか…常に考えて関わる必要があると感じる。きっと同敷地内に小規模の事業所がなかったら他の介護保険の制度はあまり考えなかったかもしれない。そう考えると、ケアマネージャーや私たちは利用者の人生に責任を担う立場なのだということを実感する。広い視野をもって、利用者さんからの発信をキャッチし、その方のチャンネルに合わせた制度も提案できる介護を目指したい(M/O)

《編集後記》

4月27日、接遇マナーの社内実践研修を開催。少々気楽に見聞きできる雰囲気でしたが…「ちょっと待った!!接遇って何??」と振り返るニュースが目飛び込んだのです。  
高齢者が転んで動けなくなってしまったそうです。動けなくなった主人をみた犬は助けを呼びに行った…犬は人間の言葉は分からない。でも異変に気づき行動に移した。これは介護の現場に求められる接遇なのではないかと感じました。本来、言語にしなければいけないことを非言語にし、非言語で対応することで心地よく過ごせるものを言語にしまわせないか???そんな疑問が湧いたニュースでした。マニュアル通りの接遇では足りない。もう一歩二歩三歩、深い接遇を学ぶ必要があると…犬に教えてもらいました。(Y/O)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。  
5月の発送部数 90部